2012
5
No.32

The Kashiwara Miharibanの
かしわら見張り番

発行所 かしわら見張り番
代表 はまうら佳子

〒582-0026
柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
電話 072-977-5502
FAX.072-977-8782

今語る、真実を！

市長はすべて知っていたのに知らんぷり？！ 柏原新聞は、なぜ市長の疑惑を書かないのか？

昨年からマスコミ等で、色々と問題になっている柏原市、今回の柏原市広報、柏原新聞に掲載されている議員のことについて、そして、「かしわら見張り番」を何故、毎月発行しているのかと言うことで、フリージャーナリストから取材を受けましたことを一部掲載！

なぜ号外で議員だけたたく？ 市長のことはなぜ書かない？

Q　なぜ今、市長と柏原新聞について語ろうと思ったのですか？

濱浦　柏原新聞から4月20日、5月10日付で「号外」という形で3万部が無料配布されました。柏原新聞は第三種郵便となっておりますが、新聞社5社等が「号外」を撒くときは「政治、経済、文化等を緊急に報道しなければならない」という場合であると思います。今回の号外は、緊急を要したでしょうか？その内容が真実とはいえないところにも問題があります。単なる「ちらし」ではないかと思います。そして、議員のことは暴き立てるが、市長のやっていること、例えば公選挙法に触れている「出してはならない年賀状を7年間出していた」こと、もちろん、毎日放送のニュース番組「VOICE」までが取り上げた「イノシシ処理場」のことは、ほとんど触れない、信じられない偏り方なのです。

Q　内容が真実でないというのは？

濱浦　議長、副議長を含む市会議員一行がソウルに視察旅行に行ったのは事実ですが、きちんと市長に報告し、市長に止められたのを無視して行っているわけではありません。これが「危機管理」に影響しているなら、責任は市長にもあります。

Q　平成19年2月、後援会の方達と海南島に行った事が又書かれていますね。

濱浦　今回、柏原新聞「ダイジェスト版」に5年前の海南島ことがまた記事にされましたので、真実をお話させていただこうと思いました。今回の議長、副議長の件と同様の事が5年前にもありました。

私は、平成19年2月8日に後援会の方達と海南島に旅行に出かけました。実はその日と議会改革特別委員会と重なったのです。通常の定例議会、常任委員会とは違って、各委員会は議員の予定を聞いて調整され開会されますが、私には、全く事前調整もなく、1月中旬に日程を突然聞かされました。唖然とし、事務局に相談しました。議会改革特別委員長の許可があればと良いいうことで、了解していただきました。その上、岡本市長に相談したところ「行って来い」とお許しを頂きました。

本来なら、そのように言われても委員会に出席するのが議員としての姿であると思いましたし、弁解すれば許可をして頂いた委員長が「柏原新聞」に大きく取り上げられ記事にされると思いました。随分前から約束があり、許可も出たことですから「それならいいか」と安易に出発してしまった事には今も反省の余地があります。議員がいつも、「柏原新聞」の一方的な報道に痛めつけられていることに怒りを覚え真実をお話させていただきました。ちなみに、私が買ってきたお土産のチョコレートを市長は、食べておられたぐらいなのです。

市長と業者の旅行を暴いたときから、濱浦議員への中傷が始まった！

Q　許可を受けていたのに、一転して糾弾を受けることになったのは？

濱浦　岡本市長が業者（議員の父親）柏原新聞と3人で長野県・中国の杭州・玉造に旅行したこと暴いたことからです。平成19年9月本会議で、業者との不透明な旅行に対して質問いたしました。それをきっかけに私への猛攻撃がはじまりました。平成19月の2月に海南島に行ったことが、8ヶ月近くになって、いきなり、「濱浦議員、委員会をすっぽかし」と柏原新聞に大きく取り上げられ、各方面にポスティングされました。私の旅行を認めた市長は知らぬ顔。その後、柏原新聞はあらゆる面で私を攻撃してきております。

Q　そのあたりから、「チエンジ！」という新聞をはじめられたのですね。

濱浦　ええ、それが前身で今の「かしわら見張り番」につながります。21年2月の市長選が終わってから、もう一市民として、柏原市政を正していこうと思っていたのですが、支援者の方が、「もう一度、市会議員の選挙に出てみたらどうか。市民からの判断をあおいだらどうか」と勧めてくださって、市議会にもどることができました。

Q　そして今日に至るわけですね。

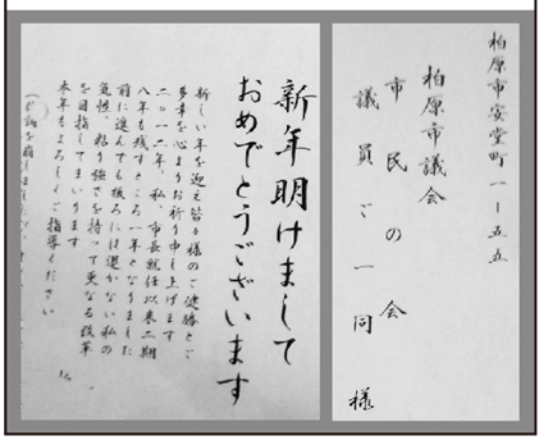
濱浦　私と同様の手口で、今、議長と副議長が、さも悪人のようにかき立てられています。議員報酬の件は、私もそれを止めることができずに大いに反省すべきところですが、「危機管理がなっていない」と責め立てるのはおかしい。岡本市長は過去に3回ほど入院され、今年5月16日に再入院したと聞いております。何回も入院している岡本市長こそ、危機管理がなっていないのではないでしょうか。事前に市長に報告済みで容認されたと聞いております。なのに柏原新聞は暴き立てています。

Q　市長と柏原新聞に何か関係を感じられているのですね。

濱浦　そうです。あくまで憶測ですが、柏原新聞はイノシシ問題や談合問題など、もっと市長が糾弾されていいことには一切触れていません。今回の韓国視察旅行の記事には、「市長も議会ももっと市民に目を向けた行動をとってほしいものだ」の一文がありますが、これは「市長にも公平な態度でいる」というカモフラージュに過ぎません。

鑑定の結果同一の印字文字と判断される！ 違反年賀状と一致!!

3月下旬、各会派の議員に「無記名投票は、後ろ暗い・腹黒い・姑息」と書かれた一通の怪文書が送られてきた。科学的な手段で鑑定をしていた結果、宛名・差出人の書体が、公選挙法に違反して市民に出された年賀はがきの書体（印字）と、同一印字であることが判明した。（鑑定書による）



孔子の教え

「君子は諸を己に求む。小人は諸を人に求む。」

学問はもちろん人間的にも優れている人は何事も自分の責任としてとらえるが、そうでない人は、他人のせいにしがちである。